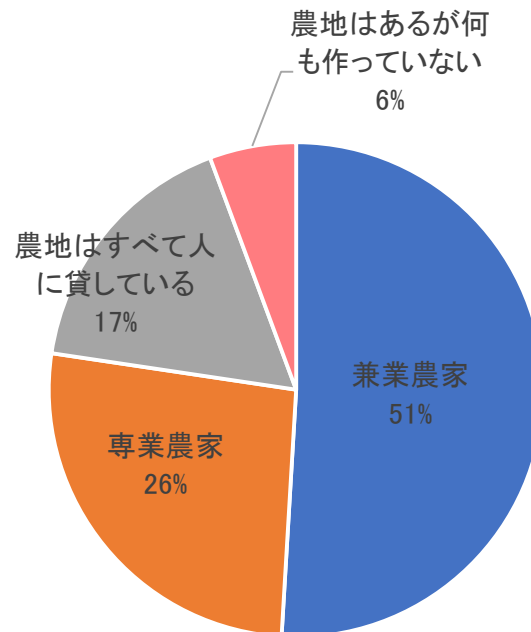


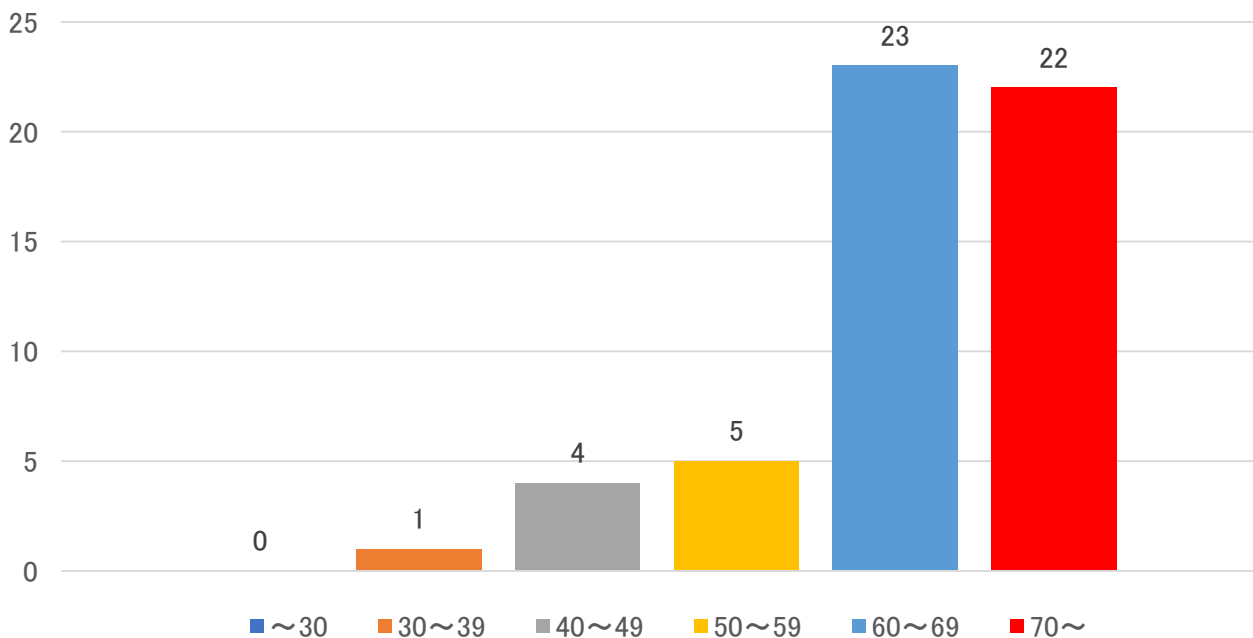
地域農業の将来に関するアンケート結果＜久保手地区＞

対象者総数 57 回答者数 53 回答率 93.0%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



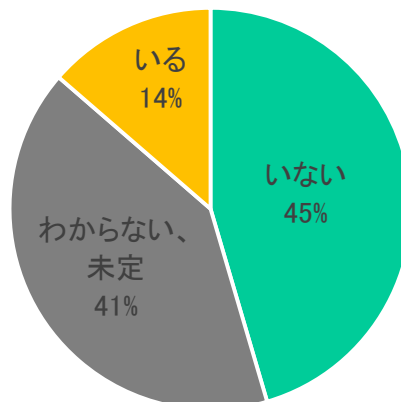
経営者年齢分布図(単位:人)



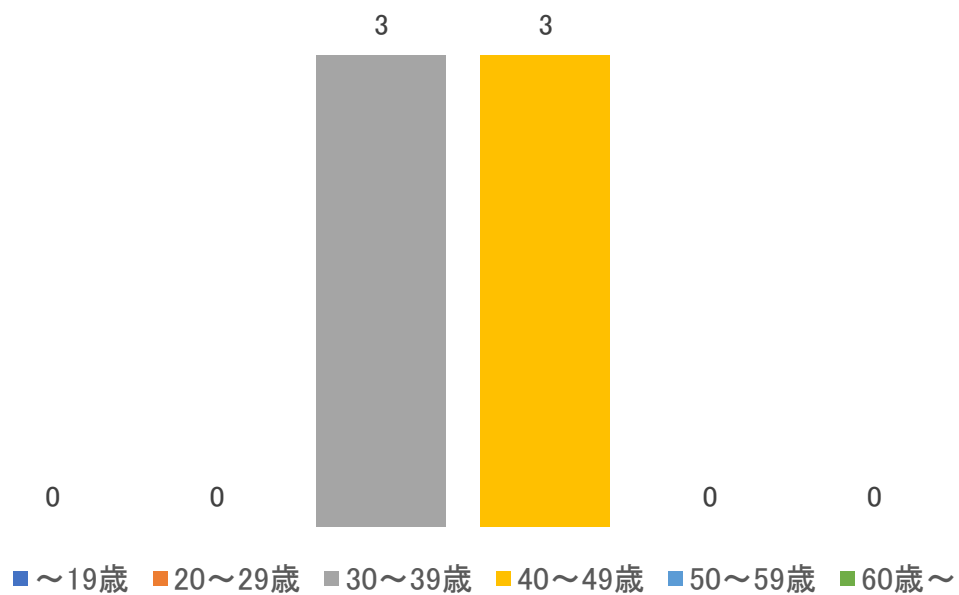
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

地域の農家のうち、70代以上の経営者が全体の4割を占め、若手の農家が特に少ない。全体の平均年齢は66.2歳であった。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

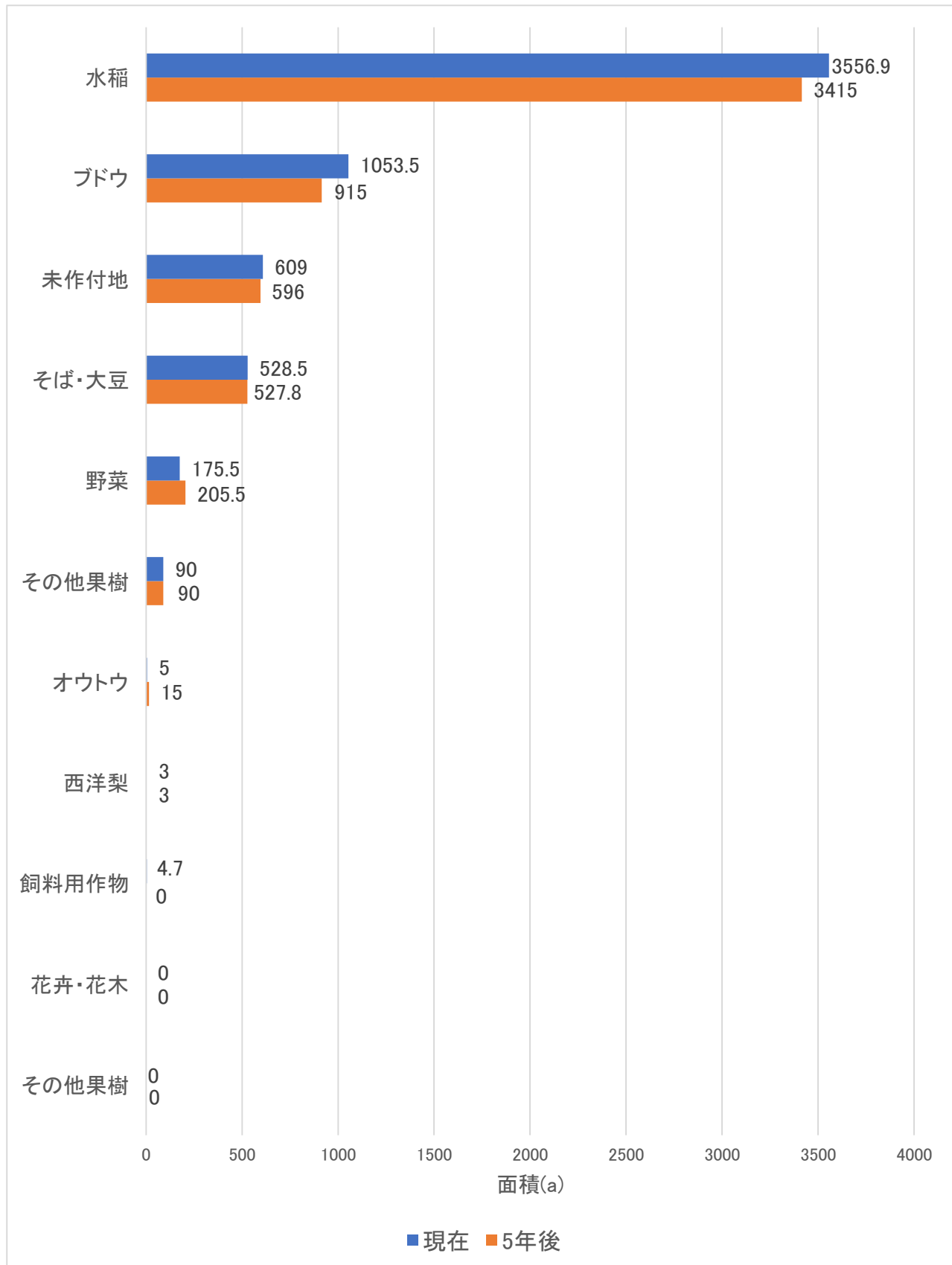


後継者年齢分布図(単位:人)



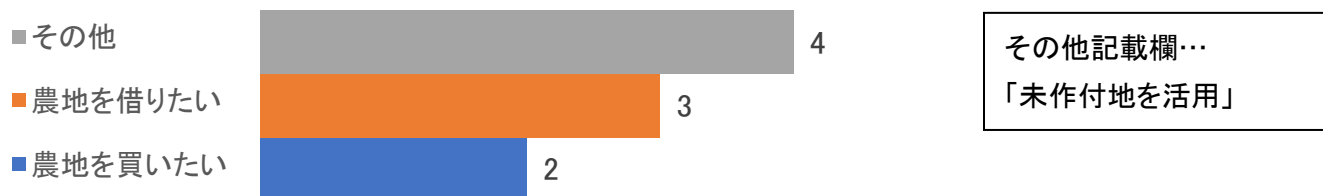
農業の引き継ぎ手は「いない」が45%、「わからない、未定」が41%、「いる」は14%で、「いる」と答えた人の後継者の平均年齢は37.7歳であった。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))

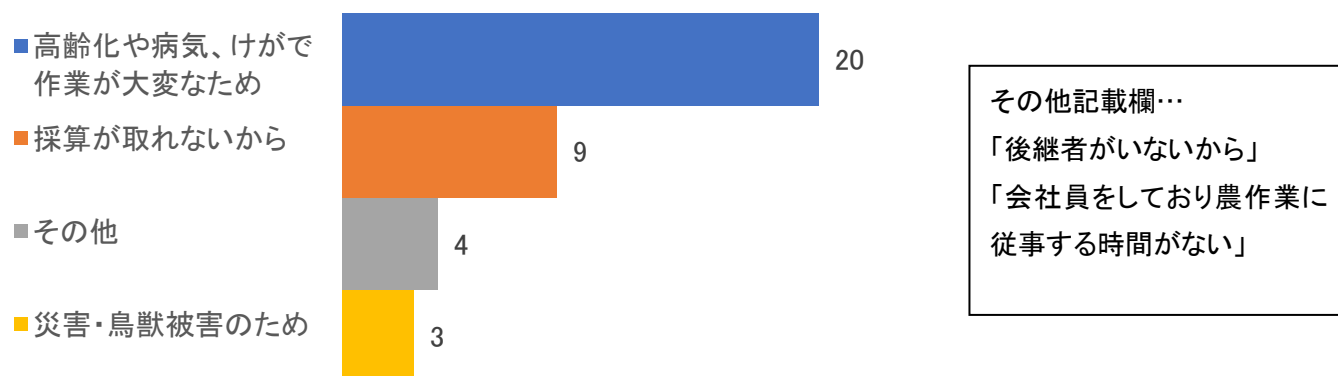


地区全体で 4.5% (246a) の農地を縮小したい意向であった。水稲は 4% (142a) 減、ブドウは 13% (138.5a) 減の見込み。

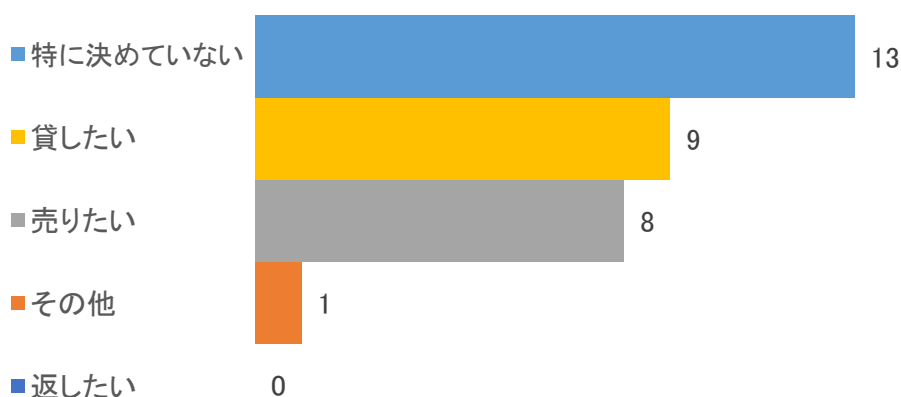
(4) (規模拡大したい方へ) 規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位:人)



(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 理由は何ですか。(複数回答可。単位:人)

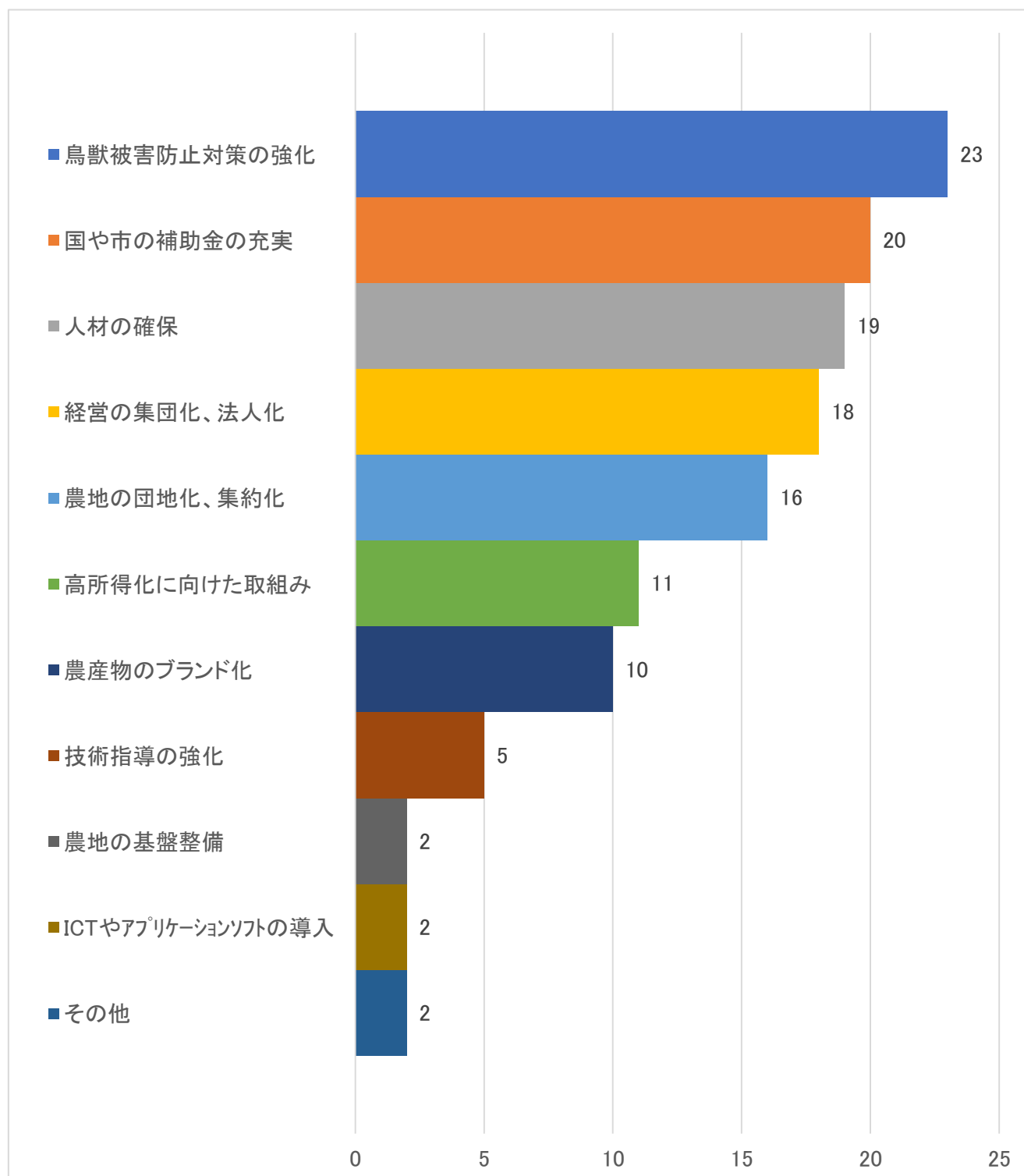


(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ) 栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位:人)



高齢化や傷病など身体的な理由で農業をやめたい人が特に多い。やめた後の農地については、貸す、売るが併せて 17 人、特に決めていない人が 13 人であった。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



※その他記載欄…「食糧農政対策」、「上山の農業発展の可能性を総合的に検討する機関の早期創設と運用、そのための予算的裏付けを工夫すること。」

地区の多くの人が鳥獣被害対策のほか、補助金の充実、人材確保、経営や農地の集約などに関心が高い。